

平成 28 年
12 月定例会

議会基本条例等に関する調査特別委員会設置

平成 28 年第 8 回（12 月）定例会は、去る 12 月 5 日から 12 月 16 日までの 12 日間の会期で開かれました。今回の定例会では、「石垣市税条例等の一部を改正する条例」等の条例議案 7 件、「平成 28 年度石垣市一般会計補正予算（第 4 号）」等の予算議案 5 件、その他議案 6 件の計 18 件の案件が市長より提出され、それぞれ所管の常任委員会に付託されました。

そのうち、経済民生委員会に付託となった「石垣市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例」については、引き続き慎重な審査を要するとして継続審査とし、本会議においても承認されました。その他の議案についてはそれぞれ原案のとおり可決されました。

議員提出議案については、「子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担金減額措置の廃止と現物給付の早期実現を求める意見書」、「貧困をなくし、子どもの未来を保障する対策を求める意見書」及び「不発弾等に関する経済的損失の補償制度構築を求める意見書」の 3 件の意見書と「石垣島におけるゴルフ場建設の早期実現に向けた要請決議」、「米海兵隊 MV-22 オスプレイ不時着事故への抗議決議」の 2 件の決議案が提出され、それぞれ原案のとおり可決されました。

また、12 月 12 日から 12 月 15 日の 4 日間の日程で行われた一般質問では、議長を除く全議員が本市の諸課題について質すなど活発な議論が交わされました。

「一括交付金事業増額計上」
平成 28 年度一般会計
補正予算（第 4 号）
可決

12 月定例会では、総務財政委員会（平良秀之委員長）に「平成 28 年度石垣市一般会計補正予算（第 4 号）」等 5 件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

今回の一般会計補正予算は、既決予算の総額から歳入歳出それぞれ 1 億 6 0 2 万 2 千円を減額し、予算の総額を 2 億 7 5 億 9 6 3 4 万 6 千円と定めるものです。その主な歳出の内訳としては、民生費で国民健康保険事業特別会計への「一般会計繰出金」1 億 5 5 8 9 万 円、農林水産業費で「登野城漁港水産生産基盤整備事業」1 2 1 0 万円、消防費で「消防伊原間出張所新築工事」2 2 4 0 万円、教育費で「学校施設耐震診断事業」1 1 7 6 万 5 千円などが計上されております。

その他、一括交付金事業として「LED 砂栽培技術によ

る葉物野菜の生産推進事業」、「ドローン実証実験事業」、「スポーツウエルカム石垣島事業」等で 1 億 4 9 2 万 1 千円を増額計上しております。

閉会中の継続審査 ごみ処理手数料改正案

今定例会では、「石垣市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例」が経済民生委員会（大石行英委員長）に付託・審査されましたが、同委員会からの申し入れにより閉会中の継続審査として、最終本会議において承認されました。

市指定ごみ袋の 5 円引き上げ等が盛り込まれた改正案は、ごみ有料化以降初の改正となることから、今後の審査が注目されます。



ごみの減量化は期待できるか

議会基本条例等調査 特別委員会

今定例会の最終本会議において、石垣市議会基本条例等に関する調査特別委員会が設置されました。

本委員会は、議会基本条例等に関して調査研究し、本市議会に反映させることを任務としております。委員（10 名）は次のとおりとなっております。

- ◎委員長 仲嶺 忠師
- 副委員長 平良 秀之
- 委員 宮良 操
- 石垣 亨、長浜 信夫
- 砥板 芳行、石垣 涼子
- 東内原 とも子
- 友寄 永三、長山 家康

石垣市都市計画審議会 委員を推薦

今定例会の最終本会議において、石垣市都市計画審議会の委員として次の議員の推薦を決定しました。

- 大石 行英 氏
- 宮良 操 氏
- 箕底 用一 氏
- 友寄 永三 氏